

KUBOTEK®

KEYCREATOR®
Unconstrained CAD/CAM

What's NEW in 2020 SP1

インストールフォルダ

- 初期設定インストールフォルダ
 - C:\¥ KeyCreatorPro.2020.SP1 - 64 bit バージョン
- 今バージョンは、いくつかの「デフォルト設定」が変更されています。旧バージョンのデフォルト設定を引き継ぎたい場合は、KeyCreator Pro 2020 をインストール直後に表示される「旧バージョンから設定を移行」ダイアログで設定を引き継ぎたいバージョンを選択後「OK」をクリックしてください。

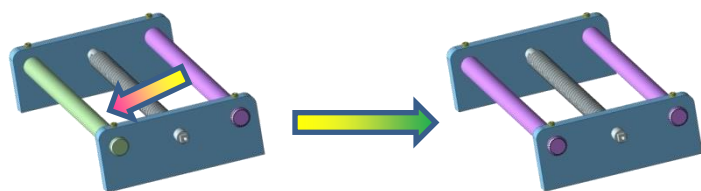
ユーザーインターフェースの名称変更


- 今バージョンは、旧バージョンと同じユーザーインターフェースデザイン（外観）を保持していますが、使いやすさ改善のために多くの名称、用語を変更しました。
 - 特に明記しない限り、機能は変更されていません。
 - 詳細は、KC2020SP1 に同梱されているリリースノートをご覧ください。

NEW

編集：属性のコピー／貼り付け機能を追加

- 属性とスタイルを、ある要素から別の要素にコピーします。
- 要素と属性が互換性を持つ場合、事前に選択した要素から別の要素に属性をコピーします。
 - カラー（1～64） / 線種 / 線幅 / ペン番号
 - テキストフォーマット
- 使用法：
 - ① 単一の要素を事前選択します。（コピー元を選択）
 - ② 編集：属性のコピー／貼り付けを選択します。
 - ③ 別の要素（貼り付け側）を選択すると、最初の要素の属性が貼り付きます。

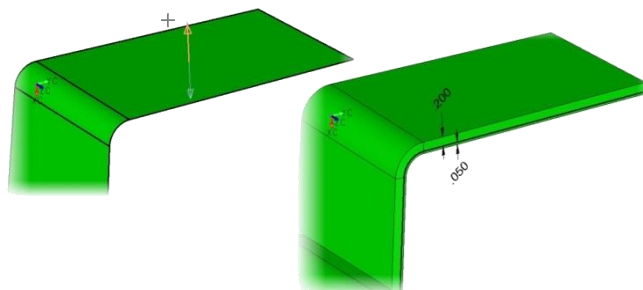
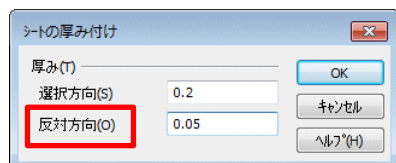


- ① コピー元：紫のボールを選択
- ② 編集：属性のコピー/貼り付け  をクリック
- ③ 貼り付け側：緑のボールを指示

NEW

シートの厚み付けに反対方向の厚さオプション追加

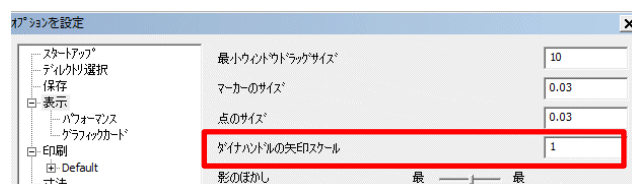
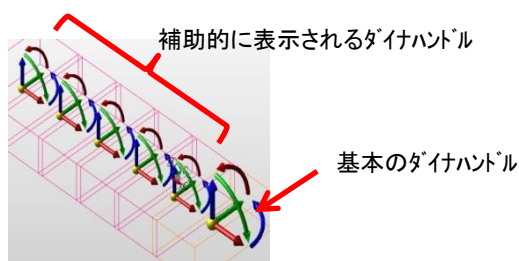
- 形状修正:ソリッドの面:シートの厚み付け に「反対方向」の厚さ入力オプションを追加しました。
 - 選択した側、または反対方向に異なる値を入力できます。
 - 「選択方向」の値は、ベクトルで指示した方向です。
 - 「反対方向」の値がゼロの場合、ベクトルで指示する「選択方向」の厚さのみが適用されます。



NEW

ダイナハンドルのサイズ設定オプションを追加

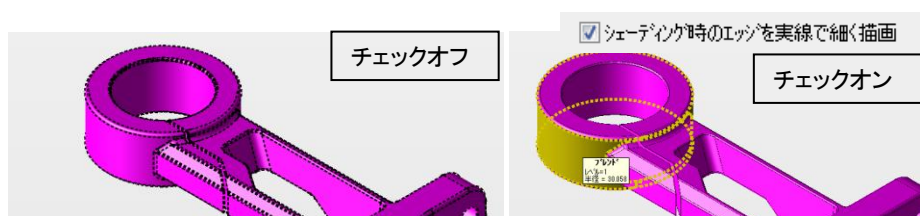
- ツール:オプション:表示の「ダイナハンドルの矢印スケール」でサイズ設定できるようになりました。
 - 補助的に表示されるダイナハンドルは、基本のスケールの70%のサイズで表示されます。



NEW

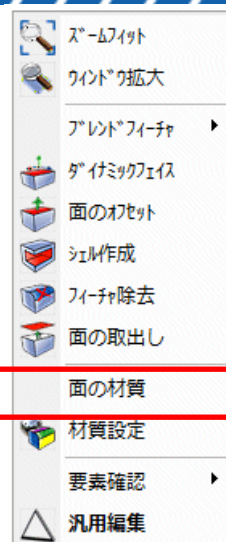
ソリッドハイライト時のエッジの表示オプションを追加

- ツール:オプション:ソリッドに「シェーディング時のエッジを実線で細く描画」オプションを追加
 - 本来の属性(線幅、線種)に関わらず、ソリッドのエッジを実線で細く描画させるオプションです。
 - チェックするとソリッドがハイライトされたときのみ本来の属性で表示されます。
 - デフォルトではチェックオフです。



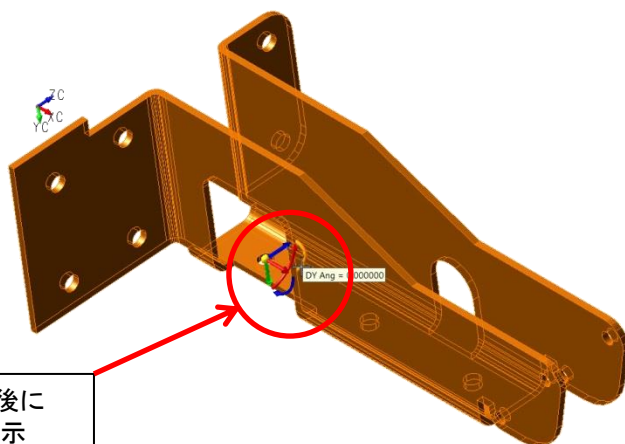
コンテキストメニューに面の材質を追加

- コンテキストメニュー(マウス右ボタン)に、面の材質を追加しました
 - 材質設定に似たダイアログが表示され、面単位でのみ設定ができます。
 - 材質設定同様、各パラメータを変更して、選択した面に反映させることができます。



さまざまなコマンドでダイナハンドル機能を付加

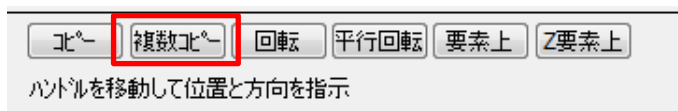
- すべてのソリッドプリミティブの「ダイナミック指示」オプションの改良
- コンテキストメニュー(マウス右ボタン)のブレンド編集をダイナハンドルで操作できるようになりました
- 要素のコピー／切り取り後、貼り付け時にダイナハンドルを追加
- すべての読み込み(Geometry)でダイナハンドルが追加され、読み込み後の位置決めが可能になりました
- アセンブリ: パートリファレンス挿入にダイナハンドルが追加され、パート配置時の位置決めがより便利になりました



読み込みや配置直後に
ダイナハンドルが表示

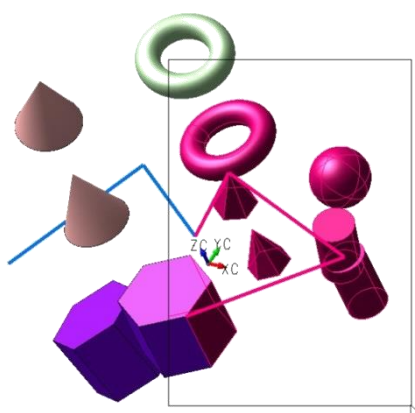
ダイナミック移動に複数コピーオプションを追加

- **複写移動:**ダイナミック移動に「複数コピー」オプションを追加しました。
 - 複数コピーで配列が可能になりました
 - 配列の種類が選択できます

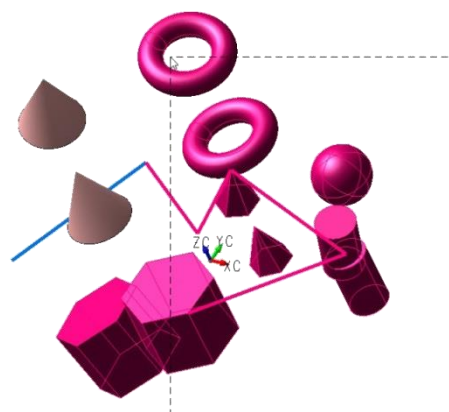


ウィンドウ選択の改良

- ウィンドウ選択時の対角指示のドラッグ方向で、自動的に「内側」か「内側+線上」かを決定します。
 - 左からスタートの場合は内側(実線のウィンドウ境界線)
 - 右からスタートの場合は内側+線上(破線のウィンドウ境界線)



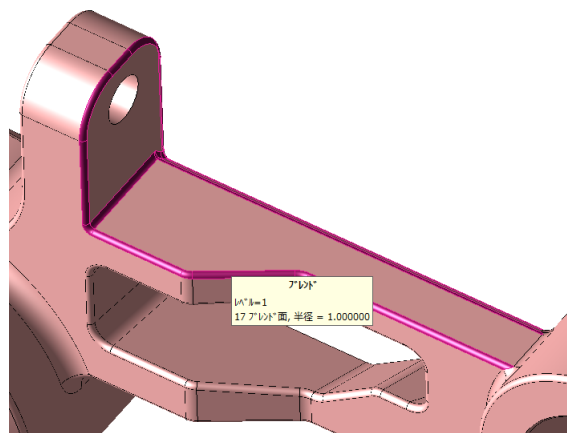
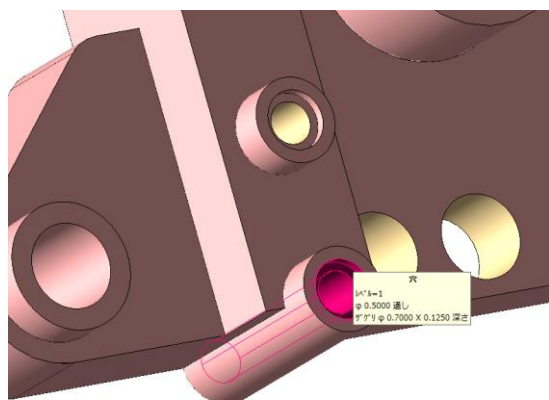
左 → 右へウィンドウ指示で内側選択



右 → 左へウィンドウ指示で内側+線上選択

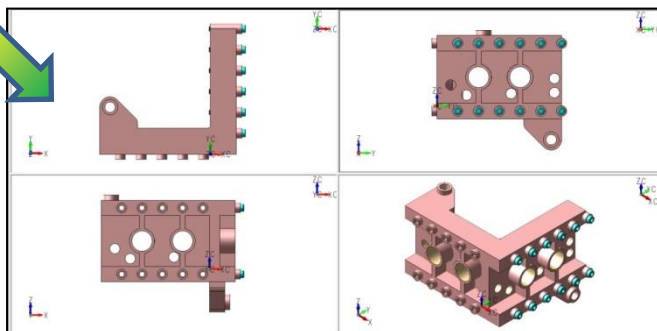
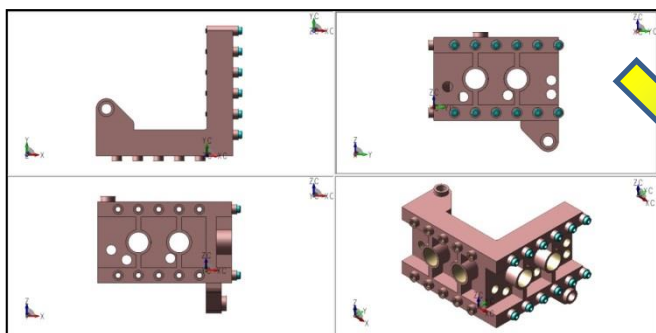
スマートフィーチャ選択の改良

- 事前選択でカーソルがフィーチャ上にある時、穴やブレンドをダイナミックに検出します。
- データ量の多いモデルのパフォーマンスを向上させるために、カーソルの移動中にフィーチャのダイナミック検出機能を無効にすることができます。
 - 無効にする場合、カーソルの移動中は[CTRL]キーを押したままにします。
 - スマートフィーチャの穴やブレンド、面や閉じた境界線を対象に適用されます。



新しい環境照明(アンビエント照明)に変更

- レンダリング時のモデルの表示がクリアになりました。
- 更に、表示: 拡張レンダリング: ライト方向のデフォルト値を変更して、各ビューでのレンダリング表示がクリアになりました。



データ変換の対応バージョン KEYCREATOR 2020SP1

ファイル形式	データ変換	サポートバージョン	アセンブリファイル
ACIS	読み込み	1.5 - R25, R2016 - R2020	NO
	書出し	1.5 - R25, R2016 - R2020	NO
DWG/DXF	読み込み	2018までの全バージョン	NO
	書出し	R12 - R14, 2000/2002, 2004 - 2018	NO
IGES Geometry	読み込み	5.3まで	YES
	書出し	5.3	YES
STEP	読み込み & 書出し	AP203, AP214	YES
Parasolid	読み込み	10.0 - 31.0	YES
	書出し	12.0 - 31.0	YES
Solidworks	読み込み (Geometry)	98 - 2020	YES
	読み込み (Drawing)	99 - 2019	—
	PMI	2019まで	
Autodesk Inventor	読み込み	Part Files: 6 - 11, 2008 - 2020	—
		Assembly Files: 11, 2008 - 2020	YES
CATIA V4	読み込み (Geometry)	4.1.9 - 4.2.4	NO
	書出し (Geometry)	4.1.9 - 4.2.4	NO
	読み込み (Drawing)	4.1.5 - 4.2.4	—
	PMI	4.2.5まで	
CATIA V5	読み込み (Geometry)	V5 R8 - V5 R30*	YES
	書出し (Geometry)	V5 R15 - V5 R30*	YES
	読み込み (Drawing)	V5 R7 - V5 R29*	—
	PMI	V5 R4 - V5 R29*	
PTC Creo (Pro/E)	読み込み (Geometry)	Pro/E 16 - 2001, Wildfire 1 - 5, Creo 1.0 - 6.0	YES
	読み込み (Drawing)	Pro/E 2000i - 2001, Wildfire 1 - 5, Creo 1.0 - 6.0	—
	PMI	Wildfire 5まで, Creo 1.0 - 6.0	
Siemens / NX	読み込み (Geometry)	11 - 18, NX 1 - 12, 1872	YES
	読み込み (Drawing)	NX 1 - 12, NX1872シリーズ (NX1892まで)	—
	PMI	Siemens V11 から NX 12, 1847	
JT	読み込み (Geometry)	8.x, 9.x, 10, 10.2, 10.3	
Solid Edge	読み込み (Geometry)	V18(2006) - 2020	YES

***: CATIA V5の注意:** V5 R29は、V5-6 R2019または R2019x として知られています
V5 R30は、V5-6 R2020または R2020x として知られています

PMIの注意: PMIのサポートは現在visual PMIのみに限定されています
Dim Xpert モジュールで作成されたPMIは現在、バージョン2014以降でサポートされています
PMIのサポートはSolidWorks eDrawingsでのPMIサポートと同等です